

2008 年度

科目名 フィールドワークⅡA	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 横田 隆志
授業テーマ 京都の代表的な祭礼行事のひとつである祇園祭を訪ねる		
授業の概要と目標 祇園祭は日本を代表する祭礼のひとつであるとともに、京都の歴史と文化が凝縮された行事でもあります。この授業では、現在も行われている祇園祭を訪ねて、日本の伝統文化のあり方について理解を深めることを目的とします。		
評価方法 事前調査の報告および祭礼行事のレポートにより評価します。		
テキスト プリントを配布します。	著者	出版社
参考書 授業のなかで適宜紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 〈ガイダンス〉 4月中にガイダンスを行いますので、実施日に関する掲示に注意してください。 〈事前学習〉 7月の祭礼当日までに、祇園祭の行事内容や組織・歴史について文献資料をもとに調査し、レポートしてもらいます。祭礼を見学するさい、ただ見るだけではなく、自分なりの問題意識をもって調査にのぞむようにするためです。また事前に京都の八坂神社・お旅所を探訪して、当日の調査に備えます。 〈祇園祭〉 祇園祭は7月17日に行われる山鉦巡行が有名ですが、各町の山や鉦を見学し調査するには前日の宵山の方が落ち着いてできますので、この授業では前日の宵山から調査・見学します。宵山では各山鉦町が山鉦を飾り、祇園囃子を奏し、各会所や旧家においても宝物や屏風を飾って客をもてなしますので、文化財が今も生きたかたちで使われているありようを知る絶好の機会ともなります。 〈事後学習〉 祇園祭で調査したことをレポートとして提出し、それを発表しながら祇園祭の神事的意義について討論します。 〈注意事項〉 16・17日は一日中京都で行動することになります。毎年見物客が多く、混雑しますので、引率者の指示には必ず従ってください。		